「宗教とは誠実さである。

タミーム・アッ＝ダーリー（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）はこう言った： 「宗教とは誠実さである。」私たちは言った：「誰に対してのものですか？」彼（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った：「アッラー、その啓典、その使徒、そしてムスリムの指導者たち、およ
び一般の者たちに対する誠実さである。」
[صحيح] [رواه مسلم]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った：宗教とは、誠実さと真摯さの上に成立するものである。そのようにして、アッラーから命じられたものを不足やごまかしなく、十全な形で遂行することができるのである。 すると預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）に、こう尋ねられた：誠実さとは誰に対するものですか？それで彼は答えた： 第一に。アッラーに対する誠実さである。つまりアッラーに対して行いを純粋なものとし、シルクを犯さず、その主性、神性、美名と属性を信じ、アッラーの関する物事を偉大視し、かれへのイーマーン（信仰）へといざなうことである。 第二に。アッラーの啓典、つまりクルアーンへの誠実さである。それはそれがアッラーの言葉であり、最後の啓典であり、それ以前の全ての天啓宗教を廃棄するものであることを信じ、偉大視し、正しく読誦し、その意味が明確なものに則って行い、意味が不明確なものについてはそのまま受け入れ、それを改変しようとする者たちの手から守り、その戒めを熟考し、その知識を広め、そこへと人々をいざなうことである。 第三に。アッラーの使徒ムハンマド（アッラーからの祝福と平安あれ）への誠実さ。これは彼が最後の使徒であること、彼がもたらしたものを信じ、彼の命令に従い、禁じたことは回避し、アッラーを崇拝するにあたっては彼のやり方以外ではそうせず、彼の権利を偉大視し、彼を敬い、彼の宣教と教えを広め、彼に対する言われもない訴えから彼を援護することである。 第四に。ムスリムの指導者たちに対する誠実さ。これは真理において彼らに協力すること、彼らの権威を奪ったりしないこと、アッラーの服従において彼らに聞き、従うことである。 第五に。ムスリム一般に対する誠実さ。これは彼らに善行をほどこし、彼らをいざない、彼らを害悪から遠ざけ、彼らによいことを望み、善と敬虔さにおいて彼らと協力することである。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/4309